

信頼と環境志向のエンタープライズ向け共有型クラウドサービス



BizXaaSプラットフォームサービス

～ビジネスプランのご紹介～

ビジネスソリューション事業本部
プラットフォーム&サービスBU

株式会社NTTデータ

変える力を、ともに生み出す。
NTT DATAグループ



1. なぜクラウドサービス？
2. クラウド利用の考慮点
3. Sireならではのクラウド
4. 昨年度の引合状況・導入実績・事例
5. BizXaaSがはまるターゲット
6. ビジネススキーム
7. 価格体系の見直し
8. 今後のロードマップ

1. なぜクラウドサービス？(所有から利用へ)

システム基盤の所有に伴う課題を解決する一つ的手段として、クラウドサービスを活用し「所有から利用へ」シフトすることができると一般的に言われています。

システム基盤の「所有」に伴う課題

クラウドサービス利用による解決

ライフサイクルとの整合

ピーク容量に合わせてハードウェアを調達したけど、使い切るのは何年か先…調達も面倒…

欲しいときに増やせる
柔軟なリソース利用による
コスト低減

基盤運用・セキュリティ対策

自社センタのシステムを自社要員で監視・メンテナンス。本来業務に支障が…セキュリティ対策も大変…

システム基盤運用・保守
アウトソーシング

震災・電力規制対応

自社センタ設備での事業継続には限界がある…

震災・不慮の停電に
耐えうる
強固なセンタの利用

システム基盤を所有から利用へ

ともに生み出す。
NTT DATAグループ



1. なぜクラウドサービス？(財務指標の改善)

さらに、「所有から利用へ」シフトすることにより、財務指標の改善が図れます。

固定比率 の改善

**固定比率が減少し、
安定性の指標が改善されます**

固定比率 = 固定資産 ÷ 自己資本
固定資産が自己資本でどれくらい賄われているか？
100%以下が望ましい

固定資産回転率 の改善

**固定資産回転率が上昇し、
効率性の指標が改善されます。**

固定資産回転率 = 売上高 ÷ 固定資産
固定資産を使ってどれくらい売上を上げているか？
無駄な固定資産はないか？
【目安】流通業:5回転以上 / 製造業:2.5回転以上

2. クラウド利用の考慮点(リスクマネジメント)

クラウドサービスを利用する際には、預けるデータの資産価値とリスク許容度により、データの取り扱いレベルが決まります。

1. 利用者データの取り扱い

- クラウドサービスに預けるデータの**資産価値とリスク許容度**により、取り扱いレベルが決まる。
- サービス利用時には、**適切にデータが扱われているかの確認**や、サービス終了時の**データ返却**や**データ消去**が確実に実行できるかクラウド利用前に確認すべきである。

2. 利用者の権利保護

- クラウドサービスに預ける**情報が保護**されるか「アクセス及びその管理者の特定・限定」、「外部からの侵入に対する防御」「データの消去、廃棄」
- **国内法と海外(国外)法**の適用関係の整理

2. クラウド利用の考慮点(海外センターの利用)

特に、海外のデータセンターにデータを置く場合、国内法と海外法の違いによりデータの保護やサービス継続性が失われる場合があります。

1. 紛争時に日本国法が適用できるか
海外裁判所での裁判となると、**開示強制**を受けたり、**弁護士費用**が高額になったりという**リスク**が存在する。
2. データセンター資産の**所有権**が、紛争による略奪やクーデター等により**非合法に侵害される**リスクもある。
3. 海外本社が存在する国の公権力による**営業停止命令**や操作による**差し押さえ**を受けるとサービス提供が止まる恐れがある

これらの課題を解決するのが

「BizXaaSプラットフォームサービス」

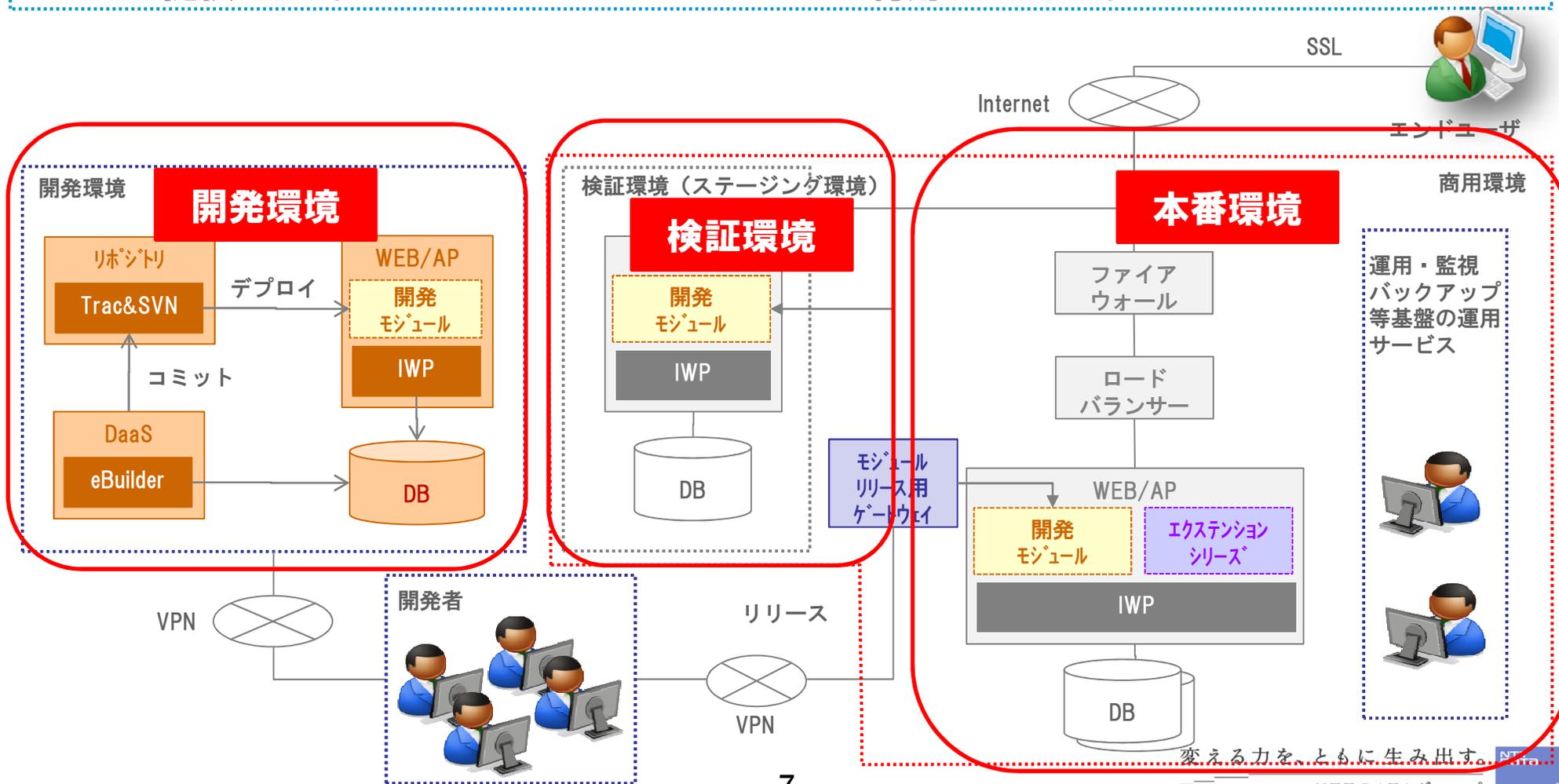
です。

- ✓ 利用に合わせた、**リソース量の調整**が可能
- ✓ お申し込みから**約1ヶ月での環境開放**を実現
- ✓ **信頼できるシステム運用保守、高い可用性**を実現するシステム構成
- ✓ **災害や停電への対策**を考慮したセンタ設備
- ✓ 機密性の高いデータを取り扱うことを前提としたシステム構成や運用を備え、**信頼性の高いサービス提供**を実現

3. Slerならではのクラウド(BizXaaS PaaS概要)

概要

アプリケーション開発に必要なプラットフォームを提供するサービスです。プラットフォームの方式・運用設計、調達を考えるとなく利用することができます。
 開発・試験工程で利用する**開発環境**から商用サービスを提供するための**商用環境**までを**オールインワン**で提供します。フレームワークとしてIntra-martを利用しています。



変える力を、ともに生み出す。NTT

3. Slerならではのクラウド(BizXaaSの特徴)

BizXaaSはSlerの観点からサービス構築したエンタープライズ向けのクラウドサービスです。秘匿性の高い、保全性を求められるデータを扱うために必要な設備、機能、運用を提供しております。

クラウド利用に対する課題

システム連携、拡張

セキュアかつ柔軟なシステム連携の実現

データの秘匿性

秘匿性を求められる基幹システムのセキュリティ確保

データ保全性

本当に当社のデータを預けて大丈夫なんだろうか...

BizXaaS なら

①VPNを利用したセキュアな連携を提供

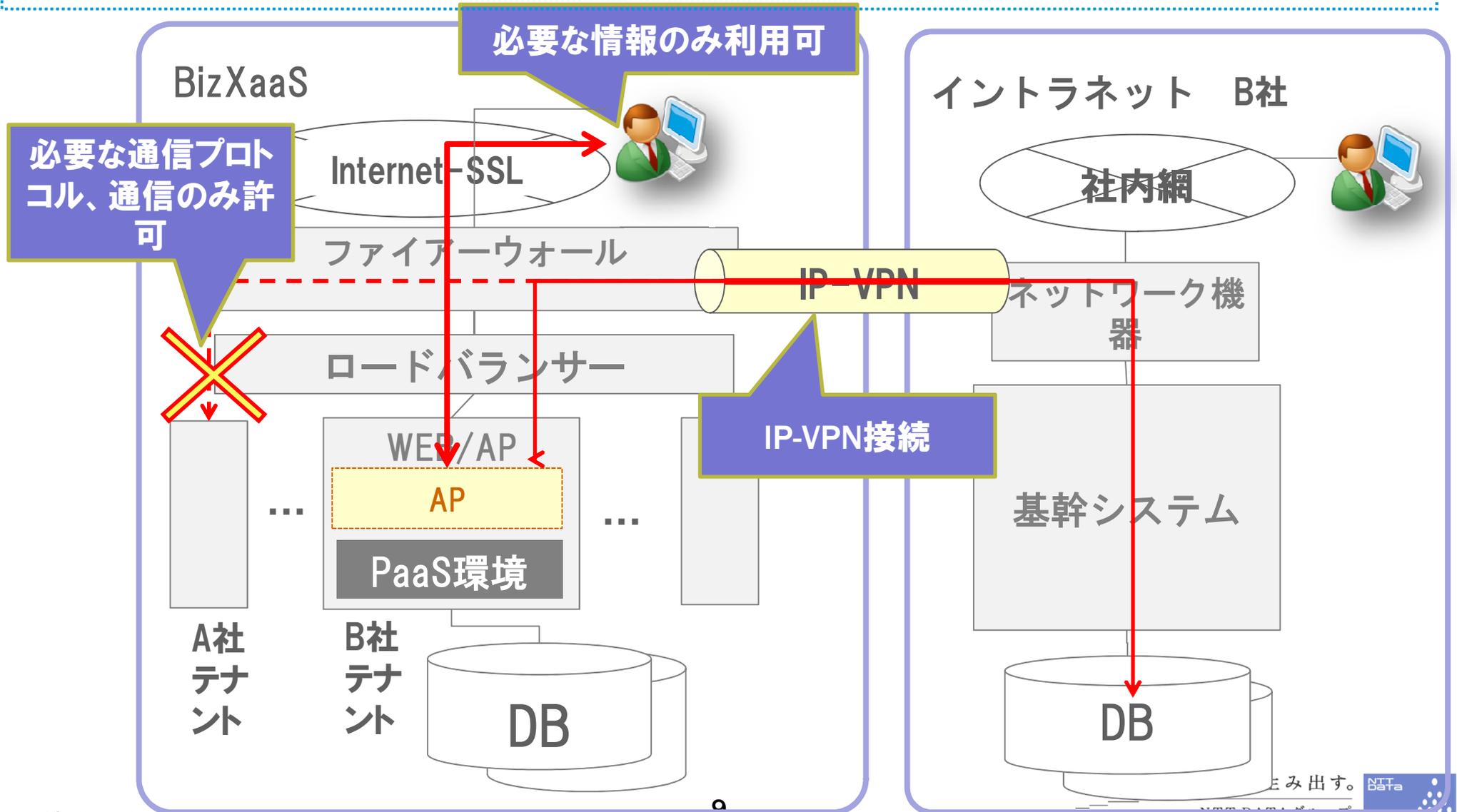
②共有環境でも強固なセキュリティレベル(通信、運用等)

③堅牢なデータセンターに配置し、確実なシステム運用を実現

セキュアかつ必要十分な統合環境

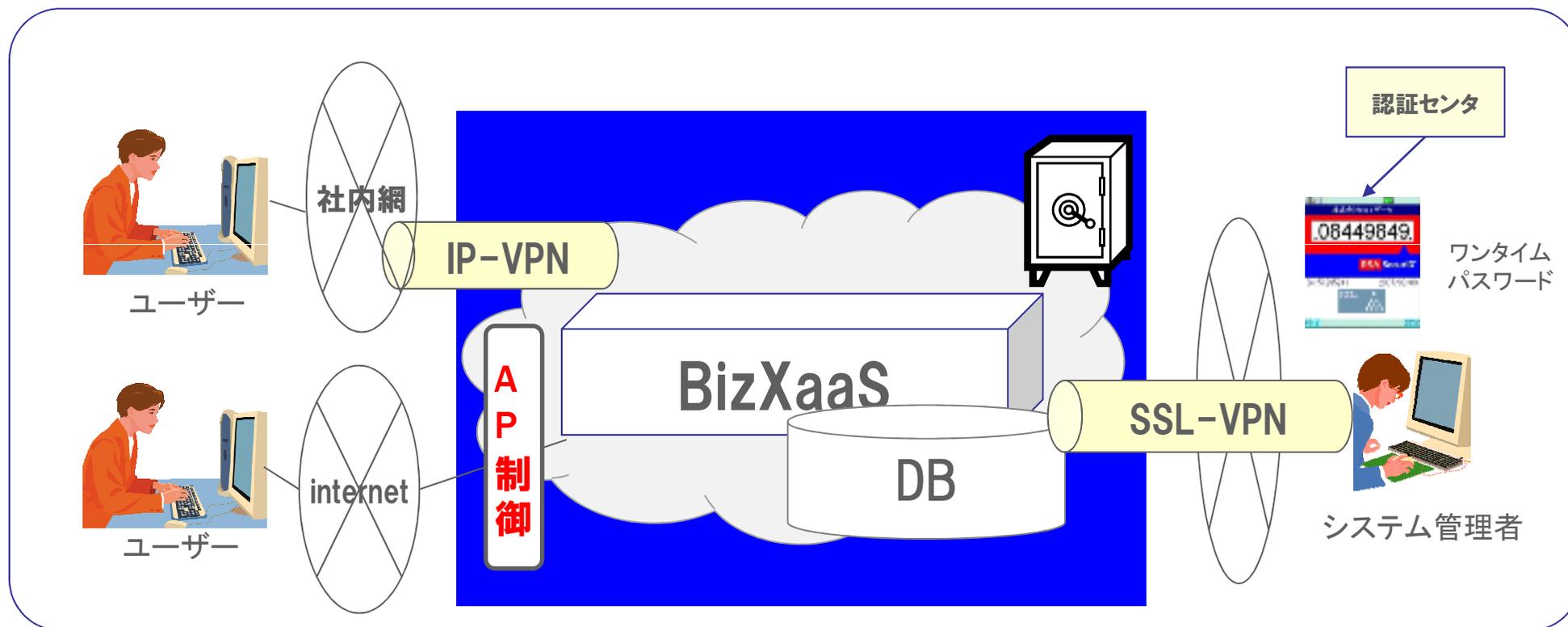
①VPNを利用したセキュアな連携を提供

BizXaaSプラットフォームサービスでは、VPNを利用したセキュアな連携が可能です。基幹システムとの連携も可能となり、拡張性の高い利用シーンが期待できます。



②共有環境でも強固なセキュリティレベル

BizXaaSプラットフォームサービスでは、ユーザーのアクセス回線にはクローズドなIP-VPN、管理者は強固なワンタイムパスワード+SSL-VPNで通信を制限することで、ご契約単位で独立したネットワークを構築でき、貴社の貴重な情報を保護することができます。



③ 堅牢なデータセンターに配置し、確実なシステム運用を実現

BizXaaSを収容するデータセンターは日本国内にあり、堅牢な地盤・ビル構造、強固な電源設備を有し、不慮の震災や停電に対する業務継続をサポートします。

<BizXaaS収容データセンター>

レイヤ	特長
電源	<ul style="list-style-type: none"> マシン室全体をカバーするUPSに加え、非常用発電設備 (3,125kVA×3基)を実装しております。 電源供給が断たれた場合、自動的に発電装置からの電源供給に切り替わり、システム停止を防止します。 燃料の蓄積に加えて、製油所と優先補給契約を締結することで、 継続運転に備えています。
ビル構造	<ul style="list-style-type: none"> 震度6強～7の震動に耐えうる堅牢性があります。 <p>※平成19年12月18日制定の「官庁施設の総合耐震計画基準」に基づいた耐震診断の結果、構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力に問題はないとされています。</p>
地盤	<ul style="list-style-type: none"> 地域危険度特性評価で「AAA」を取得した地域に位置します。 強固な礫(れき)層を地盤としており、液状化・浸水の危険性が極めて低いと評価されています。



<非常用発電装置>

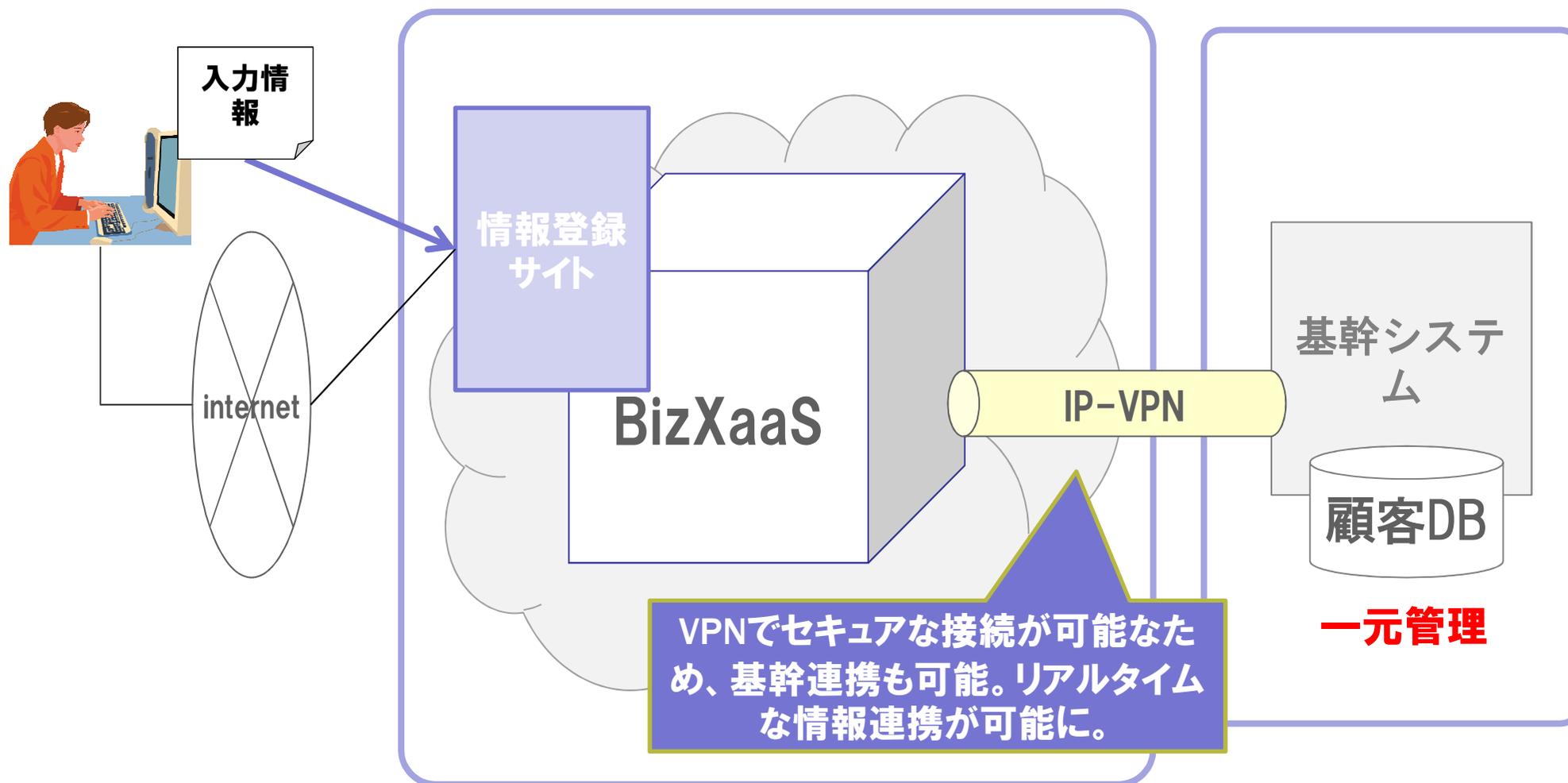
4. BizXaaSプラットフォームサービス導入実績

幅広い業種のお客様で活用していただいております。導入事例の一部をご紹介します。
いずれの案件においても、お申込みから1カ月～NW含めても3カ月前後で提供開始しております。

導入企業	導入サービス	適用業務
某IT系企業 A社	グループウェア(SaaS)	社内情報共有基盤
某IT系企業 B社	メールサービス(SaaS) Webホスティングサービス	メール・自社HP
某モバイル関連企業 C社	インフラサービス(PaaS)	コンテンツ提供基盤
某メディア系企業 D社	メールサービス(SaaS)	メール
某サービス系企業 E社	イントラマート基盤(PaaS)	申請受付サービス
某サービス系企業 F社	ワークフローサービス(SaaS)	社内承認フロー
某金融系企業 G社	イントラマート基盤(PaaS)	社内故障管理
自社内某ソリューション	インフラサービス(PaaS)	サービス化にむけた検証
自社内某サービス	インフラサービス(PaaS)	インターネット上でのサービス提供
自社内某サービス	インフラサービス(PaaS)	サービス提供基盤

導入例)基幹連携の利用シーン

貴重な顧客データをBizXaaSのバックエンドに配置することで、基幹システムのセキュリティ確保をしつつ、エンドユーザへのサービスクオリティの向上が図れます。



5. BizXaaSの“はまる”システム要件とターゲット案件

これまでの提案・導入事例の傾向から、BizXaaSに適した求められるシステム要件下記のように考えています。

高可用性・高セキュリティ要件

Internet回線やよくわからないアプリでは不安・・・
データバックアップや故障時の対応などが不安・・・

機密性の高い業務・データの取り扱い

海外データセンターで監査対応とか障害調査は不安・・・
人事・組織情報などセンシティブな情報を扱う・・・

信頼して運用をまかせられる

国内データセンターでSIの運用に近い形でできないか・・・

コスト抑えてクラウドでこのような要件が求められる案件・・・

規模・信頼性

冗長構成など信頼性が求められる規模

- ID数: 1000～5000
- APサーバー2台以上

業務・機密性

アカウントや組織管理が求められる業務

- in B での承認業務
- BtoBでの情報基盤

利用シーン

SI的なAP開発やSIが求められる案件

- Notesリプレイス
- グループシェアード情報基盤
- SAPなど基幹業務連携

提案例) SAPホスティングまでトータルでご提案

BizXaaSセンターでは、SAPホスティングの実績も増やしてきております。BizXaaSのPaaS (イントラマート) もSAPも同一センター内にあり、レイヤ2でのNW接続が可能です。

イントラマート社のERPリアルコネクトを介して、**SAP~イントラマートをセキュアにたやすく接続**でき、既にあるこの環境を活用して、「**SAPアドオン開発コストの低減**」と「**柔軟なERPフロント処理の開発**」を早く・安く・簡単に実現できます。



SAPの専用言語を使わないから、
簡単・短期間・低コスト！

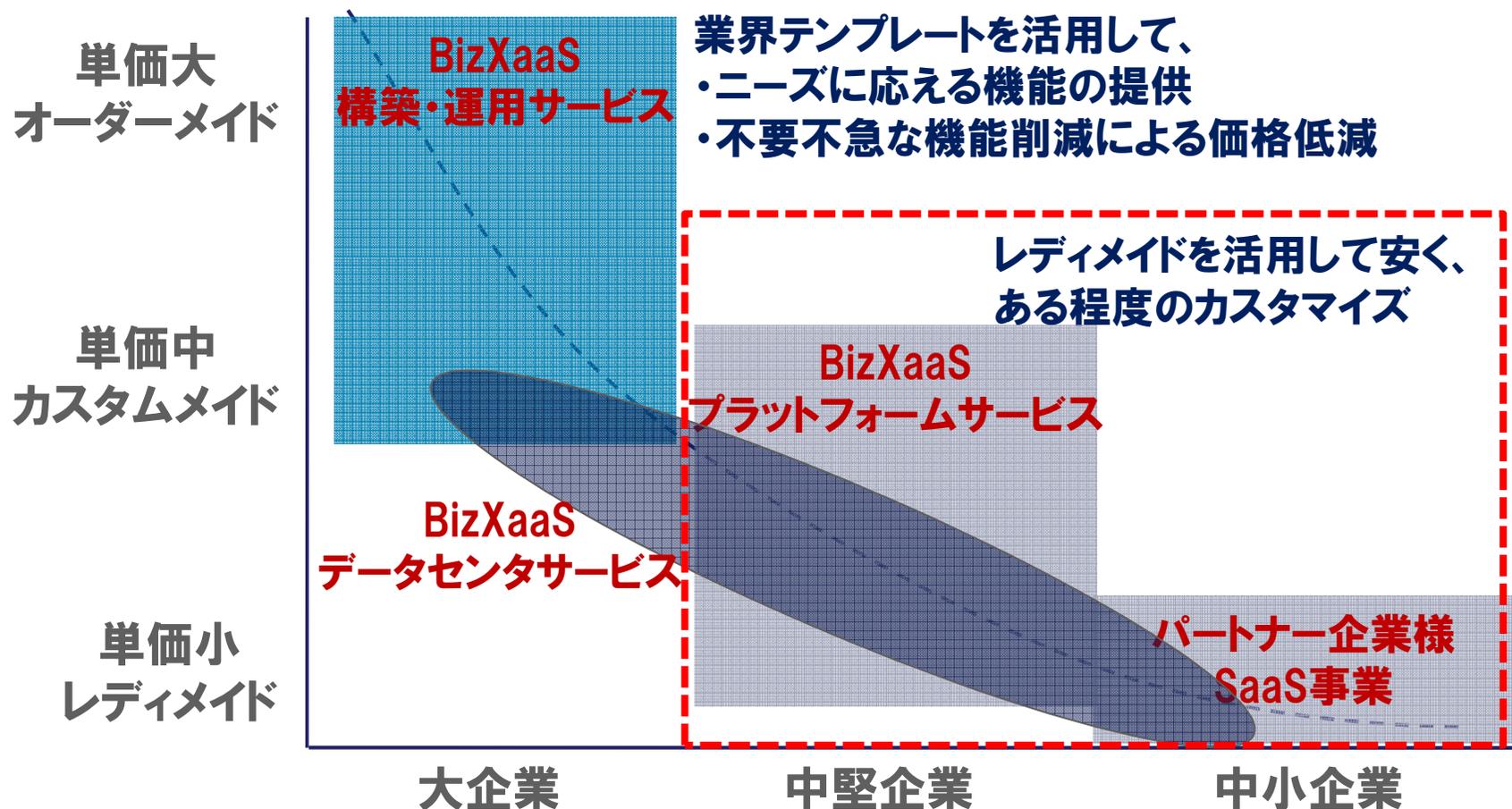
SAPとリアルタイムの
データ連携を実現

高い開発生産性を実現する
「SAP連携モジュール」

6. BizXaaSのビジネススキーム

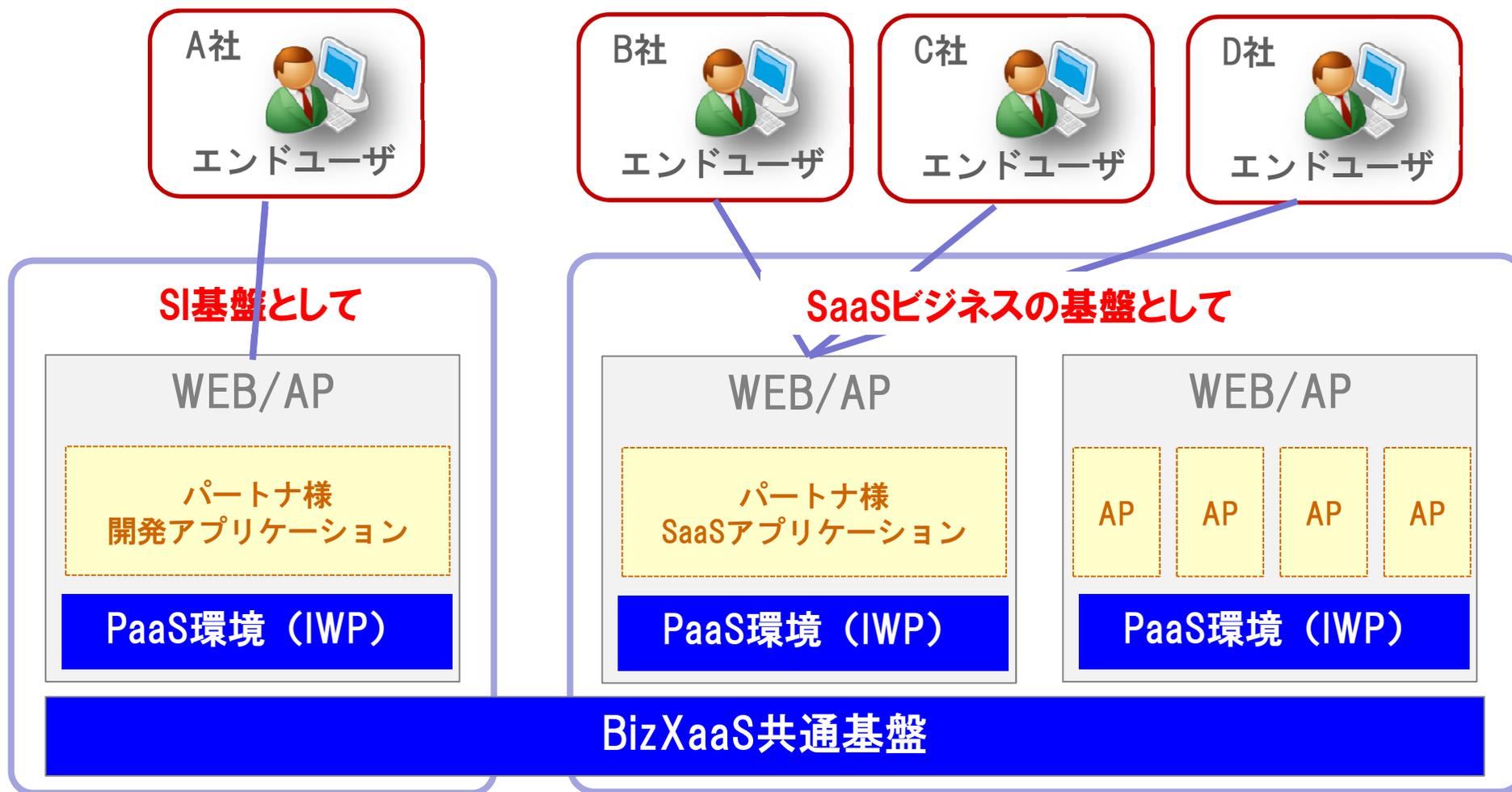
NTTデータのクラウド BizXaaSは規模や適用要件に応じて柔軟に対応できるビジネススキームをご用意しております。

- 中堅企業市場: BizXaaSプラットフォームサービスを展開⇒SI基盤として
- 中小企業市場: パートナー企業様のSaaS事業化支援⇒SaaSビジネスの基盤として



6. BizXaaSのビジネススキーム

BizXaaSプラットフォームサービスは、パートナー様の様々なアプリケーションを組み込むことが可能です。効率的な開発を行うためのSI基盤として、SaaSビジネスを簡易に展開するための開発基盤としてご利用いただくことができます。



7. 柔軟な価格体系への見直し

BizXaaS PaaSは必要なID数と基盤プラン、オプションの選択によって、価格が決まります。オプションプランを組み合わせることでニーズにあわせた柔軟な対応が可能です。

ユーザID数



基盤プラン



オプション

100ID単位で選択可能

・VM/DB/構成(冗長・非冗長)
など、必要なリソース量をもとに、7種類のプランから選択可能

必要に応じて、CPU、メモリ、DB領域追加なども可能

・ストレージオプション
・言語オプション
・VisualDesigner
など、オプション追加が可能

利用料には、イントラマート、Oracleをはじめとしてシステム利用、運用に必要なライセンス料が含まれています。特にOracleは大変お得です！

7. 柔軟な価格体系への見直し -5年トータルでのコストメリット

必要な費用

【WEB/APサーバ】

サーバ購入費用／保守費用
OS／ミドルウェアライセンス費用
セットアップ作業費用

【DBサーバ】

サーバ購入費用／保守費用
OS／ミドルウェアライセンス費用
セットアップ作業費用

【ネットワーク】

機器購入費用／保守費用
LAN構築費用
ファイアウォール構築費用
ロードバランサ構築費用
SSLアクセラレータ構築費用

【バックアップ】

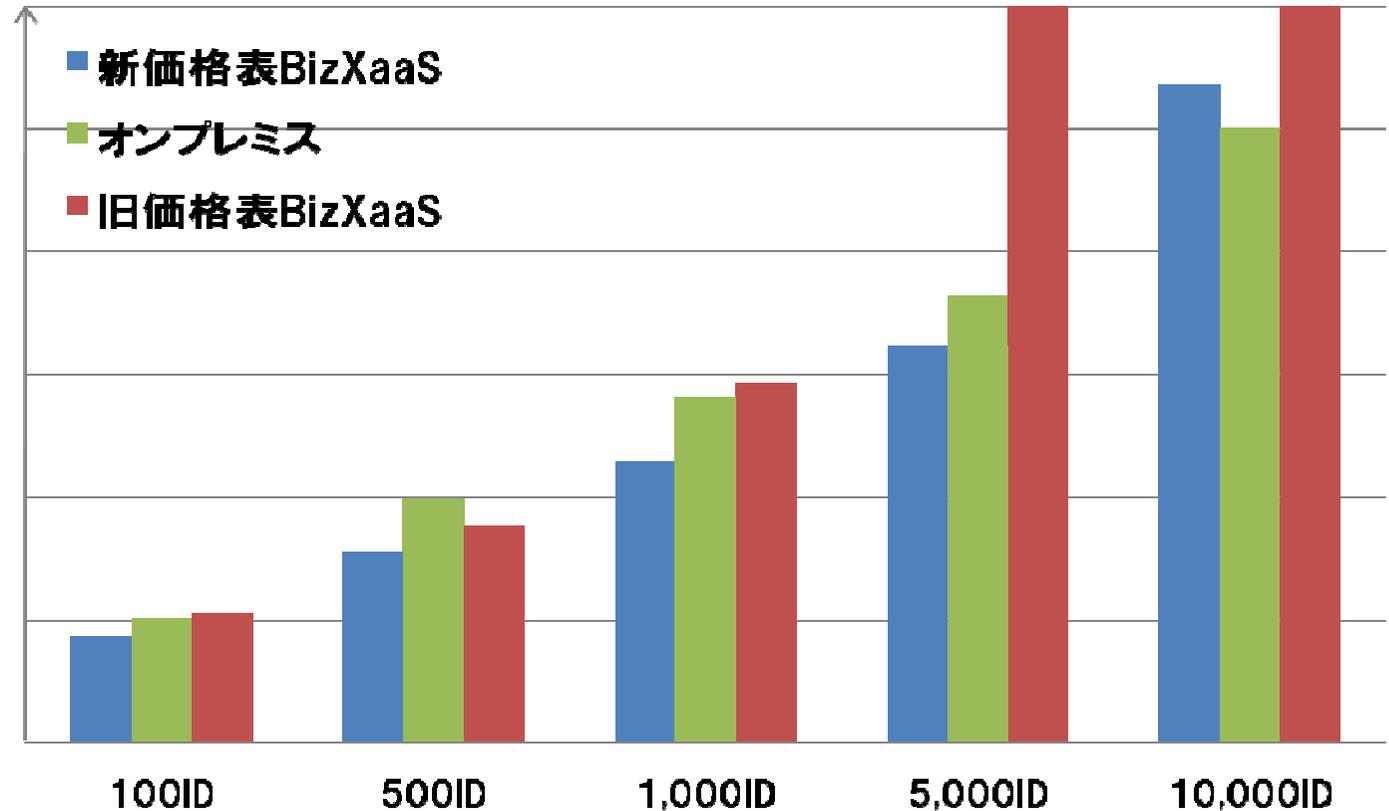
機器購入費用／保守費用
バックアップ設定費用

【監視】

機器購入費用／保守費用
監視設定費用

【設置場所】

データセンター費用

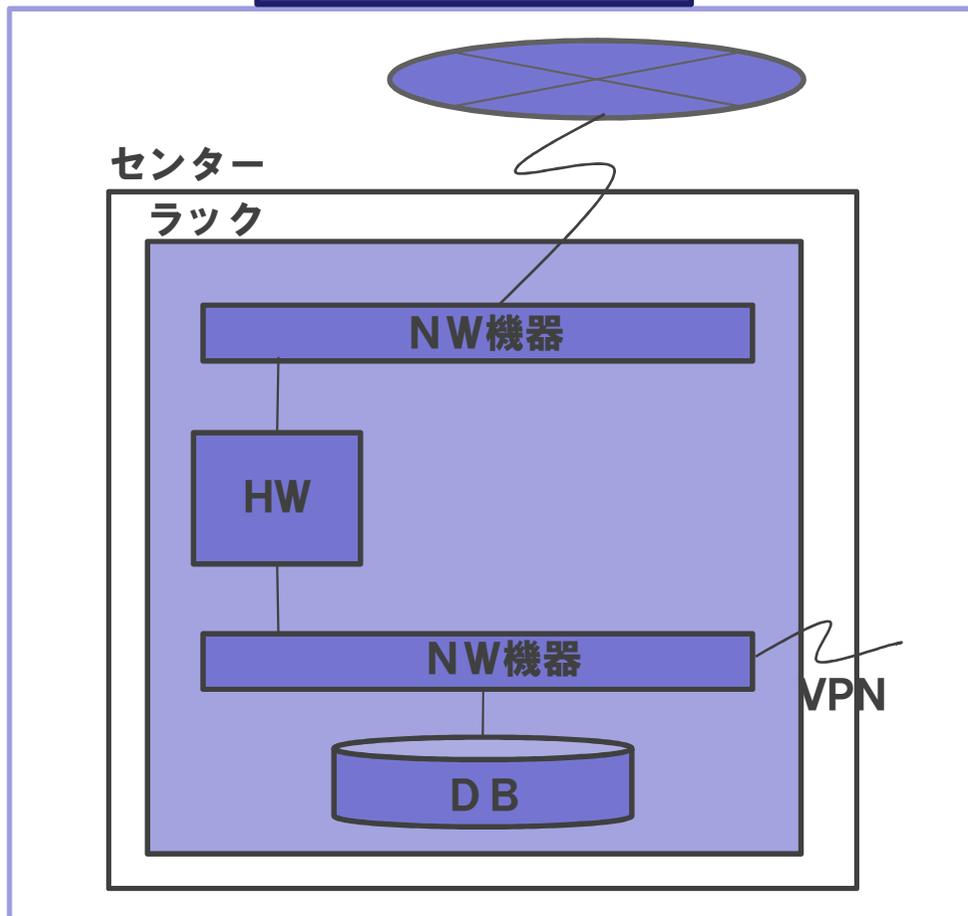


※上記は ある基盤構成で、5年間の利用を想定してシミュレーションしたものになります。

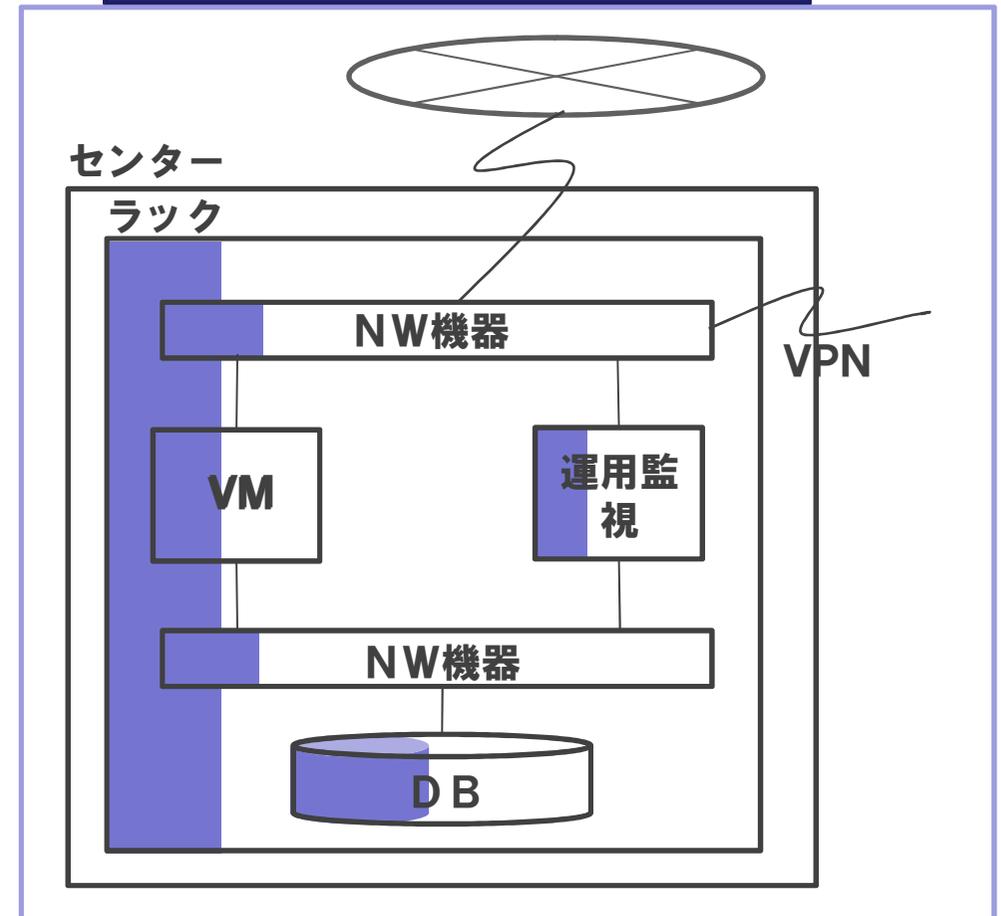
7. 柔軟な価格体系への見直し – オンプレミスとの違い

クラウドサービスの特性である共有化によるスケール柔軟性を活用することで、オンプレミスと比較し、システムライフサイクルを通じたコストを抑制することができます。

オンプレミス



BizXaaSプラットフォーム



今後のロードマップ

BizXaaSプラットフォームサービスとしては、パートナー様からのご要望に対して、順次サービス化の検討も進めております。今後のロードマップとしては、下記の項目を進めております。

□ Windowsの標準サービス化

現在、個別対応となっているWindows環境の標準サービス化に向けて検討中です

□ VPNの標準サービス化

回線含めた提供に向けて準備中です。

□ 開発環境のOracle-DB

検証環境のOracle-DBへの接続オプションを準備中です

□ Biz J (会計・販売のPaaS提供)

Biz J の検証を行った実績から最適なサービスのご提案が可能です。

パートナー様が展開されるサービスモデル化などご相談ください。

□ ジョブ管理環境のサービス化(JP1)

ご要望の多い「JP1」環境の提供に向け検討中です。

BizXaaSプラットフォームサービスに関するお問合せ先

**ビジネスソリューション事業本部
プラットフォーム&サービスBU**

担当:黒木、須藤、遠藤、丹野

E-Mail: bizxaas-platform@gis.bds.nttdata.co.jp

TEL:050-5546-9940